



高齢者の交通事故を防ぎましょう！

◇交通事故に遭うおそれのある高齢歩行者の行動特性◇

車両の接近に気付かない場合がある

周囲を確認することなく横断を開始したり、横断中も足元や進行方向だけを注視しているなど、車両の接近に気付かない場合があります。



早朝・夜間に出歩く場合がある

認知機能の低下により、早朝又は深夜に一人で出歩く場合があります。



走行車両の速度や距離感の判断を誤って行動する場合がある

身体機能の低下により、接近する車両の速度や距離の判断を誤ってしまい、「今のうちに渡ろう！」と無理な横断をする場合があります。



◇高齢者の行動特性を踏まえた安全運転のポイント◇

・動静に注意し、万が一に備えた運転をしましょう

高齢の歩行者や自転車利用者を見かけたら、不意の横断等に備えて安全な速度に減速するなど、危険予測に努めましょう。

・前方左右の視野を広げ、いち早く歩行者を発見しましょう

対向車線側の道路脇にも目を向けて、横断しそうな歩行者がいないか確認しましょう。特に夜間はハイビームを活用し、歩行者・自転車利用者を早期に発見しましょう。



『早朝・深夜に一人で出歩いている』『車道の中央を歩いている』など
 放置すれば事故に遭うおそれのある高齢者を見たら、110番通報にご協力ください！

令和4年8月末現在、県内における交通事故死者15人中**10人が高齢者**で、**全体の60%以上を占めています**。運転者も歩行者も一人ひとりが意識して事故防止に努めましょう！



ツイッターを運用しています。フォローをお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】

【いぬわし君の交通安全Journal】

◇毎月1日、15日（土・日・祝の場合、翌平日）に新情報を配信します。

◇県警のウェブサイトにも掲載しています。

www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/

【交通安全ほっとストーリー】

投稿フォームはこちら

www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/inquiry/inquiry09/

